

粕屋町政刷新

2025年11月 発行 第18号

粕屋町議会議員

ふくながよしゆき
福永善之

与党でも、野党でもない、完全無所属 52歳



政治家は、言う。 良いことばかりを。

あの箱物を作ったのは、〇〇をタダにしたのは、補助金を勝ち取ったのは、私だ、と。 自分が如何に政治家として優秀で、国・地方のために仕事をしているかを。 一部の既得権益者の耳に聞こえのエエことばかり。

しかし、上手い話には、裏がある。

表向きには、良いことばかり伝え、裏には、カラクリがあるのだよ。

後から、負担増、増税と言う。

そんな政治家を選び続けた30年のツケが、今の日本社会だ。

物価上昇に賃金が追い付かず、税負担が増え続ける社会だ。 日本は、貧乏になった。

1 受益者負担の徹底 行政サービスを受ける者が負担する

私自身、今の政治に対する、あなたの不満や要望があるのは理解している。 今の政治家は、国も地方も、与野党関係なく、財源を無視した「あれも・これも」の世界観である。 それらが本場に「行政しかやれない・行政がやらなければならぬ」仕事かどうか、と言う視点が欠けていると私は感じる。 あなたが、「カネを配れ」とか、「〇〇を無料にしろ」、という政治を望むのであれば、それだけ税金が必要になる。

2025年4月の町議選で5期目の当選を果たした。 無投票で。 これで、よっぽどの事がない限り、4年間、皆さんの納めた税金で飯を食わせて貰う。 年間約440万円。 4年間で約1,760万円。 あなたは、議員として「町のために、町民のために、何をしてくれますか」という問いがあるだろう。 主に2つのテーマについて、答えたい。

2 死を選ぶ権利がある社会 生きる権利だけでなく別の選択肢を

私は、日本社会に安楽死・尊厳死を合法化することが必要、と考えている。 法律を作ることは、国会議員の仕事、なんだが、その国会議員がこの事案に取り組もうとしない現状、私が地方議員として国に対し声を上げていきたい。 私は、今まで、施設に入れられ、死を待つの状態で生かされ続ける親戚や知人を見てきた。 認知症になり、私の存在、私の顔や名前も分からない、その様な状況で施設で生活を

つまり、あなたの税負担は、今まで以上に大きくなるということを受け入れなければならぬ。 今、行政が大きくなり過ぎて、その分、町民の税負担も増えていく構造になっている。 その構造を、ぶち壊さなければならない、と私は考える。 今の税負担ばかり求める政治を「作った・選んだ」のは、【あなた】だ。 それを変えるのも、【あなた】だ。

送ることが、果たして本人が正常な状態の時に望んでいたことなのか、という疑問がある。 日本社会には、現在、生きること・生かされることのみ、死を選ぶ選択肢がない。

もし、自分が元氣なうちに、自分が自分ではなくなった時、死を選ぶ権利が保障されているならば、将来の経済的不安・老後資金を気にせず、現在を前向きに生きることが出来るのではないだろうか？ 死生観は人それぞれ違う。

私は、あなたに問いたい。 何が何でも、生きろ・生き続けろ、という社会を生き苦しい、変えたいと思わないですか？

年度	2024年 (*)
議案【本】	77
賛成【本】	67
反対【本】	10
棄権【本】	0

賛成率 ➡ 87.01%

(*) 2024年度途中経過

2025.01.01 ~ 2025.09.30

右表は、粕屋町議会での私の賛否だ。

議会で反対した、主な議案

- 1 物価高対策
- 2 選挙ポスター公費負担
- 3 指名競争入札制度
- 4 国民健康保険税

1 一部の層に恩恵のあるバラマキ税金が公平に使われていない

物価高対策という最もな理由をつけて、一部の住民・業者に税金が投下された。

- ①65歳以上へ、一人当たり5千円の商品券
- ②700世帯へ、家電製品の買い替え補助金
- ③福祉施設へ補助金

物価高で苦しんでいるのは、一部の層だけだろうか？ 税金を集めて、それを特定の層に配る、という政策を何時まで続けるのか？ 今の政治に文句はあっても、決められた税金を納めるばかりで、行政から何の恩恵を受けない納税者は、これらの税金の使い方をどう感じているだろうか？ 政治家の仕事がバラマキばかりで、納税者をリスペクトしない。こんな政策ばかりでは、働くモチベーションの低下、国力が弱まるのではないか？ 行政は常日頃からカネがない、と言いながら、バラマキのためのカ

ネはある。バラマキ余裕があるのなら、初め

から税金を取るな、若しくは、既存の税金を安くする、という政策が必要ではないだろうか？

2 一枚当たり、7千円のポスター代市場価格とかけ離れている

選挙ポスターの公費負担に関する条例改正案が提案された。一枚当たりの限度額は、

◆改正前 → 7,129円。

◆改正後 → 7,175円。

ポスターの原資は、町民が納めた税金だ。

しかし、この改正案は、限度額ありきの請求が可能になる制度を町が認めたことになる。

今年4月にあった粕屋町議会議員選挙では、

立候補者間で一枚当たり1千円台の者、限度額いっぱいもの者、があったと聞く。立候補者間で6倍の開きがある制度を可笑しいと思わないのだろうか？ 価格の均衡化が必要だろう。

3 二つの工事に、同じ指名業者違う業者にチャンスを与えるべき

二つの工事（小学校・中学校）の応札日は、同じ日。その二つの指名は、同じ業者、7社。

◆1件目 → 落札率99.52%

（落札した業者以外の6社は、事前公表の予定

価格で応札した）

◆2件目 → 落札率98.95%

（1件目で落札した1社は、事前公表の予定価格で応札した）

この工事を発注した町は、同じ日の入札において、何故、同じ業者のみを指名したのか？

納税者である町民から談合等の疑義を受けないような仕組みが必要ではないのか？

指名のチャンス特定の業者だけでなく、他

業者に広げるべきでは。公平性と透明性が欠ける指名競争入札は、見直すべき。受注する

意思がないと予見される予定価格での応札は、問題だ。予定価格の事前公表を事後公表に。

4 税金を、取れる所から取る

国民健康保険会計は、破綻している

賃金の上昇以上に物価が上昇しており、住民の可処分所得、つまり賃金から税金や社会保障費を除いた自由に使えるお金が減少している。

国民負担率は約50%になり、住民は、支出の中で社会保障費に対する負担感を実感している。現行の社会保障制度を見直しすること

なく、会計が赤字にならないために、収入の多い人から取るという手法は、ダメだ。健康に気を配り（適度な運動・食生活）、病院に掛からない人から税を取るの、間違っている。

福永の政治信条

- (一) 個人・組織・団体・企業から献金を受けない
- (二) 60歳を過ぎたら選挙に出ない（政治家の定年を一般社会と並行する）
- (三) 議会発言は、フルオープンに町民に開示していく（隠し事ナシ）
- (四) 脱権威主義、脱前例主義、脱事なかれ主義、脱既得権益

福永の選挙に対する考え方

- (一) 後援会は、作らない（名簿ナシ、電話作戦ナシ、応援の強制・強要ナシ）
- (二) 選挙カーと選挙事務所は、持たない
- (三) 基本的に完全一人選挙、また、選挙費用10万円以内（全額自己資金）
- (四) 名前の連呼しない（拡声器で音の公害を街中に投下しない）
- (五) 公費負担のある選挙ハガキを使用しない
- (六) 街中に選挙看板を一枚も使わない（自分の宣伝をしない）